

平成27年度

租税教室実践発表資料



石巻市立大谷地小学校
教諭 鈴木 智

1 はじめに

税金は、私たちが生活していく上で安全で安心した日常を営むためになくしてはならないものであり、納税は欠かすことができない国民の義務である。私たちは、教育、福祉、消防、警察などの公共サービスや、道路や橋の整備などの公共事業によって支えられており、これらの費用のほとんどが税金で賄われている。しかし、小学校6年生の段階で、自分たちの暮らしと税が密接な関係にあることに気付かずにいる児童が多く見られる。

今まで税について学習してきたのは、社会科の「日本の歴史」において、「租・庸・調」や「年貢」等であり、児童は税を納めることの厳しさや苦しさといったイメージをもっている。具体的な「税の働き」についての学習は、社会科の『下』の教科書で扱う「わたしたちの生活と政治」の内容である。

そこで、児童の税に対する認識を高めるために、租税教室を実施することとした。今回の実践を通して、税の大切さや必要性について関心を持ち、政治や国の将来について考えていけるような素地を養いたいと思っている。

2 児童の実態

本学級は6年生（男子15名、女子14名）計29名の児童が在籍している。事前に「税」に関するアンケートを行った。結果は次のとおりである。

<p>1. 税金にはどんなイメージがあると思いますか。(複数回答)</p> <p><input type="checkbox"/>高い(24) <input type="checkbox"/>いらぬ(4) <input type="checkbox"/>取られる(3) <input type="checkbox"/>細かい(1)</p> <p><input type="checkbox"/>増えている(1) <input type="checkbox"/>道路を作っている(1) <input type="checkbox"/>教科書をもたらえる(1)</p>
<p>2. 税金の種類で知っているものを書きましょう。(複数回答)</p> <p><input type="checkbox"/>消費税(27) <input type="checkbox"/>所得税(6) <input type="checkbox"/>脱税(5) <input type="checkbox"/>納税(5)</p> <p><input type="checkbox"/>住民税(2) <input type="checkbox"/>法人税(2) <input type="checkbox"/>自動車税(1) <input type="checkbox"/>関税(1)</p>
<p>3. 税はどこに納められているとおもいますか。(複数回答)</p> <p><input type="checkbox"/>国(10) <input type="checkbox"/>警察(7) <input type="checkbox"/>銀行(7) <input type="checkbox"/>税務署(6)</p> <p><input type="checkbox"/>県庁(1) <input type="checkbox"/>市役所(1) <input type="checkbox"/>消防署(1) <input type="checkbox"/>天皇陛下(1)</p>
<p>4. 税金の使い道はどこで決めていると思いますか。(複数回答)</p> <p><input type="checkbox"/>国(15) <input type="checkbox"/>銀行(8) <input type="checkbox"/>警察(4) <input type="checkbox"/>総理大臣(3)</p> <p><input type="checkbox"/>税務署(2) <input type="checkbox"/>県庁や市役所(2) <input type="checkbox"/>偉い人(2) <input type="checkbox"/>国際連合(1)</p>
<p>5. 税金は何に使われていると思いますか。(複数回答)</p> <p><input type="checkbox"/>建設費(6) <input type="checkbox"/>教科書(5) <input type="checkbox"/>偉い人の給料(5) <input type="checkbox"/>道路(2)</p> <p><input type="checkbox"/>救急車(2) <input type="checkbox"/>国立競技場(2) <input type="checkbox"/>支援物資(2) <input type="checkbox"/>選挙(2)</p>
<p>6. 税金についてくわしく知りたいことは何ですか。(複数回答)</p> <p><input type="checkbox"/>なぜ税金はあるのか(9) <input type="checkbox"/>税金は何に使うのか(8)</p> <p><input type="checkbox"/>なぜ税金は上がるのか(7) <input type="checkbox"/>1年間で集まる金額はどのくらいか(3)</p>
<p>7. 税金は必要だとおもいますか。(一つ選んで理由を書きましょう。)</p> <p><必要・まあまあ必要：19(抜粋)></p> <p><input type="checkbox"/>国のお金がないと大変だから <input type="checkbox"/>わたしたちの役に立っていることもあるから</p> <p><input type="checkbox"/>税金がないと国が成り立たないから <input type="checkbox"/>ないと不安だから</p> <p><input type="checkbox"/>教科書をもたらえなくなるから <input type="checkbox"/>税金を無駄に使っているわけではないから</p> <p><あまり必要でない・必要でない：10(抜粋)></p> <p>●自分たちに関係ないから ●何のためにつかわれているかわからないから</p> <p>●物が高くなるから ●消費税は30年前はなかったから</p>

児童は、詳しい税についての学習が未習のため関心が低く、税金と聞くと「高い」、「取られる」などマイナスのイメージがあることが分かる。消費税については知っているが、基礎的な知識については認識が低い。その他の税の種類についても、名前は分かるがほとんど理解していない。全体的には、税金についてあまり良い印象を持っておらず、税金が自分たちの生活を支えていることを実感している児童はほとんど見られなかった。この学習を通して、税についての正しい理解を深め、納税者としての意識を育てていきたい。

3 指導に当たって

指導にあたっては、次の3点について留意していく。

- (1) これまでに学んだ日本の歴史の中で「租・庸・調」「年貢」「地租」などの税が古くからあったことを想起させ、税への関心を高め、税金に関連づけながら学習に取り組ませていく。
- (2) ゲストティーチャーとして税務署の方を迎えて、税金について詳しい話を聞き、その意味や仕組み、用途などを理解させる。
- (3) 学習した内容を作文や絵はがきなどで表現し、納税義務と税に対する適正な用途についての意識を高めさせるようにする。

4 指導計画（5時間扱い）

回数	学習活動	時間
1 事前指導①	「税に関するアンケート」 ・アンケートに記述する。	0.5
2 租税教室	「実践授業」 租税教室：わたしたちの生活と税 ※ゲストティーチャー：石巻税務署 川田さん	1
3 事後指導①	「租税教室を終えて 一句」 ・租税教室を終えた感想を川柳にする。	0.5
4 事後指導②	「租税教室を終えて」 ・税について学んだことを作文に書く。	1
5 事後指導③	「税に関する絵はがきコンクール」 ・「税」の大切さを絵はがきに表す。	2

※社会科との関連について

	◎…単元・題材名	○…語句・内容
日本の歴史	◎天皇中心の国づくり「大化の改新と天皇の力の広がり」	○班田収授の法…：戸籍と計帳を作成し、土地を人民に貸し与え、それをもとに課税した。 ○租庸調…税や労役を課す制度を改革し、人々に「租・庸・調」の税を納めさせた。
	◎武士の世の中「人々のくらしと身分」	○秀吉の太閤検地…農民がどれだけ税を納めるかを検地帳に記した。 ○五人組…百姓のまとまりをつくり、「収穫の半分にもなる重い年貢」を納めさせた。
	◎明治の国づくりを進めた人々「大久保利通と明治新政府の改革」	○地租改正…土地の価格の3%を現金で納めさせた。
生活と政治	◎子育て支援の願いを実現する政治	○税の働き…税の集められ方と役割について知る。
	◎わたしたちのくらしと日本国憲法	○納税の義務…国民の義務について知る。

5 実践内容

【租税教室：わたしたちの生活と税】

(1) 目標





- 税の種類、集められ方、使われ方などについて知り、自分との関わりや納税の意義について考えることができる。


(2) 実施期日：平成27年9月3日（木）

(3) 講師：石巻税務署 総務課 川田 真澄様

(4) 対象：石巻市立大谷地小学校6年29名

(5) 実践の様子

段階	学習活動	学習の様子						
導入	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">自分たちの生活と税金の関わりを考えよう</div> <p>2 ゲストティーチャーを知る。</p>	 <p>○石巻税務署川田さんを紹介し、税について学習していくことを確認した。</p>						
展開	<p>3 ゲストティーチャーの説明を聞き、税金について考える。</p> <p>(1) 教育と税金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1年間の教育費 小学生 約86万円 ○6年間では、約5,160,000円 <p>(2) 消費税について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本は8%から10%になる予定 ○イタリア・デンマークでは20%以上の国々もある <p>(3) 税の歴史について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○飛鳥時代→租・庸・調 ○安土桃山時代→太閤検地 <p>(4) 税の種類について（約50種類）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国 税：国に納める税 ○地方税：県や市町村に納める税 <p>(5) 国民の三大義務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○納税の義務（日本国憲法第30条） <p>(6) 税金の使われ方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共施設建設、維持に使われている。 ○学校建設費約10億円（1校当たり） <ul style="list-style-type: none"> ・10億の重さはどれくらい？→実際に持ってみよう <p>(7) 「もしも税金がなかったら？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○DVD：「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴 <ul style="list-style-type: none"> ・救急車や消防車の有料化 ・ゴミ収集車が来なくなりゴミが増える ・みんなの道路という意識の欠如 <p>(8) 税の使い道</p> <ul style="list-style-type: none"> ○納税（国・県・町）→予算（国会）→サービス（国民）→消費（お店）のサイクル ○国民が納めた税は国民のために使われている 	<p>1年間の教育費</p> <table border="1"> <tr> <td>小学生</td> <td>中学生</td> <td>高校生(全日制)</td> </tr> <tr> <td>約86万円</td> <td>約98万5千円</td> <td>約99万7千円</td> </tr> </table> <p>ちなみに、サラリーマンの平均的な1年間の収入は400万円です・・・</p> <p>○教育に税金が使われていることを知る。</p> <p>税金の使われ方 税金は色んなところに使われている！</p>  <p>○税金の使われ方を知る。</p>  <p>○1億円を実感する。</p> <p>もしも税金がなかったら</p>  <p>○税金のない不便な生活について考える。</p> <p>○税の大切さを実感する。</p>	小学生	中学生	高校生(全日制)	約86万円	約98万5千円	約99万7千円
小学生	中学生	高校生(全日制)						
約86万円	約98万5千円	約99万7千円						

ま と め	<p>4 感想を発表する。</p> <p>○税金は必要であることが分かった。</p> <p>○税金のおかげで無償で勉強できることが分かった。</p> <p>○警察や消防署など自分たちの生活に必要なことに税金が使われていることが分かった。</p> <p>○「脱税」や「納税」という言葉の意味が分かった。</p>	 <p>○分かったことや疑問に思ったことを発表する。</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 事後指導と振り返り

(1) 【税に関する絵はがきコンクールへの参加】

○真剣な表情で絵はがきを書く子どもたち



(2) 【行事・学習後の川柳より】

○行事や学習活動後にいつも書く川柳を『租税教室』を終えて書きました。

税金は 日本の暮らし 支えてる	税金は より良い暮らし つくってる	税金は みんなを守る 命つな	税金を みんなで納め いい暮らし	八円が だれかの笑顔 つくってる	税金で 平和な暮らし 続いてく	安心な 生活しよう 税金で	税金が みんなの暮らし 支えてる
-----------------------	-------------------------	----------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	---------------------	------------------------

(3)【作文：租税教室で学んだこと】

私は、税金の授業を受けて思ったことが二つあります。

一つ目は、税金はとても大切だということ。前までは、税金は本当に必要なかと思っていました。しかし、話を聞いたりDVDを見たりして、今までの自分の考えと真逆で、税金があるからこそ、朝、昼、晩とあたりまえにご飯を食べられるのではないかと思います。

二つ目は、身近にたくさん税金が使われているということです。私たちがあたりまえに学校に通うことができるのも全て税金があるからです。わたしは学校が大好きです。でも、もし税金がなくなり自分の親が学費を払おうとしたら、親は経済的な問題でお金に困るかもしれません。そうなる子どもは不安になり学校生活を楽しむことができなくなると思います。税金は、私たちが生活していく上でとても大事なことのだと、改めて今日の授業で実感しました。

私達が嫌々払っている税には大切な理由があったことを知れて良かったです。最初は一時間も使った授業することなのかと思ったのですが、もっと税の話を知ることができました。

ぼくは、税金について学びました。ぼくは最初、税金は高いし、いらぬ必要はないと思っていました。でも、税金がないと学校を作れなくなったり、交番が有料になったりと、みんなが困ってしまうことが分かりました。これからも、みんなで税金を納めて国のためになってほしいと思いました。今日は税金について勉強できて良かったです。

私は、租税教室で税金についていろいろ教えてもらう前は、「税金なんて必要ないんじゃない。」「税金ははらう意味があるのかな。」と思っていました。しかし、税金は私たちにとても大切だということが分かりました。もし税金がなかったら、自分の家が火事になったとき、火を消すお金が自分たちではらわなくてはいけないのです。それから、学校で勉強に必要な教科書や机やイス、パソコンや実験器具などのお金をはらわなくてはいいのは税金があるからなんだと改めて知りました。物を買ってはらっている消費税も私達に必要なものに使われていることが分かりました。税金の大切さをたくさん学べて良かったです。

私が租税教室で学んだことは税金は大切だということです。私は今まで「税金はどうしてとるんだろう、必要ないのに。」と思っていました。しかし、実際に税金のことを学んでみると、いつも使っている道路や公園が税金で作られていたのでおどろきました。それから、税金は何に使っているんだろうと考えたことがありました。税金の使い道が私達の生活に役立っていたなんて全然知りませんでした。今まで、全く知らなかった税について、今日の租税教室のおかげで少しですが分かりました。今が幸せなのは、税金のおかげです。私は消費税が十パーセントになるのが少し楽しみになりました。

ぼくが租税教室で学んだことは二つあります。一つ目は、税金が学校のピアノやボールなどに使われていることです。ぼくは今まで、税金なんて、ただ無駄にお金をつかうだけかと思っていました。二つ目は、脱税の意味が分かりました。税金を払わなければいけないのにお金をはらわないことです。ぼくは、租税教室で税の大切さを学びました。大人になつて生かしたいと思いました。

私が今日の租税教室で学んだことは、税金がなくなると人々の暮らしが不便になってしまうことです。今までは、税金なんてなぜあるんだろう、と思っていました。でも、今日のDVDを見て、自分の考えが変わりました。それから、今日は一億円の見本を持ってみました。思ったより重くて持ち上げられませんでした。これからは税の大切さを忘れず、税が身近にあることを感じながら暮らしていきたいです。

ぼくが税金の話を知って、初めて知ることが二つあります。一つ目は、家や車を持っているだけで税金がかかることです。家や車は高いお金を出して買っているのに税金はかからないと思っていました。二つ目は、学校の建物やピアノなどは全て税金でまかなわれていることです。僕は毎月の集金から少しずつ引かれているのだと思っていたのでびっくりしました。ぼくは今まで、「どうして税金をはらわなきゃならないんだ。」と思っていましたが、租税教室で話を聞いて、「税があるからこそ今の生活ができるんだ。」と思いました。

7 成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 租税に関する理解が深まり、普段の生活の中で税で賄われているものについて、「大切に使うなければならない」「節約しなければならない」という意識が高くなった。
- 税の仕組みや国予算について学習していく中で、政治に関する関心が高くなり、これから学習する社会科「私たちの生活と政治」の意欲付けとなった。
- 「税金がなくなったら、どんな生活になるのか」を考えさせることで、納税の義務に対する意識が非常に高くなった。
- ゲストティーチャーによる授業を実施したことで、児童が知らなかった税に関する専門的な知識に触れることができ、税の大切さを実感することができた。
- 税については今回の授業で終わらせるものではなく、今後も機会を見つけ継続的に指導することが大切である。今回の租税教室を通じて、将来児童が納税者として国民の義務を果たしていくためにも、意識を高めていかなければならないと感じた。

8 実践を振り返って

今回、「税」に関する学習を行い、税金は「高いもの」「いらぬもの」という悪いイメージから、「大切なもの」「必要なもの」といったイメージに変わっていった。また、税金の大切さを知るとともに、自分たちも『納税』という形で国政に参画しなければならないという意識が高まった。

今回の実践を振り返り、児童の変容を目の当たりし、改めて租税教育の必要性を強く感じた。今後も税についての学習を通して、自分たちはどのようにしていかななくてはならないかを考えさせながら、税の大切さを、実生活と結びつけて生活できるように支援していきたい。